

田舎
ときどき
都会

長野県山形村

移住定住パンフレット





自然を感じて、
自由に、楽しく。
ここで、私らしく生きる。



★ ★ ★

念願の蕎麦屋の開業と、大切な子ども達の成長

この村なら、自分達らしく生きていける

01
子育て編

豊かな自然の申で伸び伸びと、
地域の人達とともに、
伸び伸びと。



PROFILE

和貴さん	(40代)
操さん	(40代)
長男	(中2)
長女	(小6)
次女	(小4)
次男	(小2)

福島県福島市

移住

山形村



大きな家族のように、助け合いながらの子育て

福島市で蕎麦打ち修業を積んでいた和貴さんが初めて信州を訪れたのは、23歳のときでした。「見る物すべてに目を奪われ、蕎麦の美味しさに感動して、旅の終わりには、夕焼けに染まった松本城を眺めながら『ここに住みたいな』と口にしていました」と和貴さん。半年後には、修業を終え、ご縁があつた松本の蕎麦屋で働き始めます。

その後、奥様と出会い結婚。出産を機に奥様の故郷である宮田村に移り、会社員をしながら腕を磨くなか、転職となつたのは、東日本大震災。故郷の惨状に居ても立ってもいられず炊き出しを志願。蕎麦を打ち、ふるまつたところ、家族を亡くされた老人から「美味しい、元気が出る」と喜ばれたことが心に響き、独立を決意。初めて降り立った松本平で挑戦したいと、2014年、一家で山形村に移住し「そば処木鶏」を開業しました。

「幼子が3人いたので、子育てしやすい環境も山形村を選んだ条件の一つでした。うちの子ども達は自然児で、毎日泥んこになって走り回っていたので、そういう子育てを続けたいと思っていたところ、見学に行った保育園の園長先生がとても温かい方で、ここなら安心できると感じました」。保護者の関わりが多く大変さもあつたが、その分家族ぐるみの付き合いも深まり、互いに助け合いながら子育てをすることに。卒園後もその関係は続き、今では大きな家族のような関係になっていると言います。

あれから8年。4人に増えた子ども達は健やかに成長。開業時に快く受け入れてくれた方たちとも良い関係が築け、「日本一のそばの里を創る会」など幅広い活動にも参加しています。目指すのは「人と人をつなぐ蕎麦屋」。そば処木鶏には、今日も賑やかな時間が流れています。



お母さんとの
ガールズトークは、
心が育つ家族の時間

〈 聞いてみました! 〉

子育てしてきて気になるところ

question 1

子育てをしてみて感じた、
山形村のいいところ

自然が豊かで遊び場が沢山あり、保育園も
選べるところ。中学校まで一緒に進んでい
けるので、子どもも保護者も深い関係が築
けるところ。行政との距離も近く、相談や
サポートも受けやすいと感じています。

question 2

子育てをしてみて
困ったところ

特にありません。近くに総合病院があり、
妊娠出産にも、子ども達の急な発熱にも対
応してもらえます。強いて言えば村内に高
校がなく通学が不便なことが不安なくらい
です。

question 3

山形村を
選んだ理由

子育てしやすい環境に加え、水やそば粉、野
菜など、上質な食材が豊富であること、な
により、山形村で家族との生活がイメージで
きたことです。

question 4

移住を検討している人へ
メッセージを

この村に住む人達は、とても温かい方たち
ばかりです。住めば住むほど好きになっ
てくれると思います。村の活動にも積極的
に参加することで、人と人の関わりも深くな
り色々な場面で力になってもらえます。

interview



山形村で子育て

子育て支援策について

安心して出産・子育てができるように、山形村にはさまざまなサポートがあります。

〈妊娠・出産〉

不妊・不育症治療補助	○治療費1組につき治療費の1/2で20万円が上限 ○1組の夫婦につき1年度1回を限度に通算5回を限度
出産育児一時金	出生児1人につき42万円(国民健康保険加入の方。 社会保険加入の方はお勤め先での手続きとなります。)

〈医療・教育〉

子ども医療費助成	18歳までの子どもが病院等を受診したときに、 医療費を助成します。
児童手当	○0歳から3歳未満 月額1万5000円 ○3歳から小学生 第1子、第2子:月額1万円/第3子以降:月額1万5000円 ○中学生 月額1万円
私立高等学校等通学者補助金	20,000円/人(年額)
中学校生徒遠距離通学費助成	5,000円(通学距離3km以上)
就学援助制度 経済的な理由によって就学困難と認められる山形小学校に就学している児童の保護者へ支給	○対象費用 学用品費、新入学児童学用品費等(1年生)、通学用品費、 校外活動費、修学旅行費、卒業アルバム代、学校給食費、 オンライン学習通信費
特別支援教育就学奨励費 山形小学校の特別支援学級に通級している児童の保護者へ支給	○対象費用 学用品等購入費、新入学児童学用品費等(1年生)、校外活動費、 修学旅行費、卒業アルバム代、学校給食費、オンライン学習通信費

Point

医療機関等について

小さい村とはいえ、病院がない。遠くまで行く。ということはありません。
地域に根差した「かかりつけ医」として内科や歯科など充実しています。

内科・小児科	内科・胃腸科	歯科	整形外科	整骨院	薬局
2院	1院	2院	1院	3院	2軒

Point

もっと安心して…。

山形村ではこの他に、出産・育児サポート、イベント、講座などを行っています。詳しくは山形村公式ホームページをご覧ください。

山形村公式ホームページ
<https://www.vill.yamagata.nagano.jp/>



★ ★ ★

ここでなら実現できるかも!?

可能性を肌で感じ、夢への一步を踏み出した

02 移住開業編

大好きなこの村で、
やってみたかったことを仕事に



PROFILE

雅美さん (40代)

千葉県柏市

移住

山形村



挑戦を受け入れてくれる環境があった

千葉県柏市で育ち、大学で園芸を学んだ雅美さん。卒業後は千葉県内の観光施設で働きながら、休暇を取っては長野県を旅していました。千葉には山の風景がなかったため山のある景色に惹かれ、長野県に来て景色を眺めたり雰囲気を感じたりすることが楽しく、心身も癒されてきました。野菜にも興味があったそうで、「訪れた先では必ず直売所を訪ねるのですが、どの野菜もみんなキラキラしているんですね。それにも感動して、次第に長野県に住みたいと思うようになりました。」

思いが叶い、地域おこし協力隊として山形村に赴任したのは2018年のこと。観光プロモーションを担い、土産品の開発などに取り組むことになりました。「野菜を育てて加工品を作ったり、野菜を収穫し、調理して食べるイベントを開いたりしました。3年間で栽培した野菜は60品目

以上。定番からちよつと変わったものまで、何を植えてもうまく育つことがわかり、素晴らしい大地と環境だと実感しました。」

現在は、村内で起業し、野菜の栽培と加工に取り組み雅美さん。空芯菜、菊芋、落花生、ケール、ハーブなど多品目栽培に挑戦中で、畑にはハーブの良い香りが漂っています。育てた野菜は、そのままパッケージしたり、お菓子にしたりして、村内の直売所で販売しています。

「山形村は本当に良いところ。家でも畑でも、ふとした瞬間に目にする風景やどこからともなく聞こえてくる鳥の鳴き声に幸せな気分になります。何年経っても毎日が新鮮で、ワクワクしています」と雅美さん。夢は農家カフェを開くこと。「まだまだ先になりそうですが、できることから一歩ずつ進んで行きたいと思えます。」



野菜を育て、
お菓子作りについて
考える時間が
何よりも楽しい。

〈 聞いてみました! 〉

移住開業してみても気になるところ

question 1

移住開業で感じた 山形村のいいところ

面倒見の良い方が多いことです。蓄積してきた栽培ノウハウを惜しまず教えてくださったり、「できないことがあれば手を貸すよ」と言ってくださったり、温かい応援をありがたく感じています。

question 2

移住開業で 困ったところ

住居探しです。アパートは村内にいくつもあるのですが、私は畑をやるために一軒家を探していたので、なかなか見つからず苦労しました。周りの方に助けていただき何とか一軒家をお借りすることができました。

question 3

山形村を 選んだ理由

美しい畑がずっと広がる風景をととても気持ちよく感じたこと、新鮮で美味しい野菜や果物を季節と共に楽しめることです。それと必要なお店はひと通り村内にあり、生活には困らないことも大きな理由です。

question 4

移住を検討している人へ メッセージを

山形村の暮らしを私は気に入っています。景色も食べ物も生活も、そして人も、全て良いです。山形村なら、それほど抵抗なく信州らしい暮らしを始められると思います。ぜひ一度立ち寄りていただきたいです。

interview

★ ★ ★

山形村で開業する

地域おこし協力隊

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

募集の際は、村公式ホームページ等に掲載します。

山形村公式ホームページ

<https://www.vill.yamagata.nagano.jp/government/chiiki-okoshi/>



長野県の創業支援

長野県では、「日本一創業しやすい県づくり」を目指し、相談窓口での相談・助言、ホームページやFacebook等による創業支援策などの情報提供、各種創業セミナーの開催、地域の支援機関と連携による支援を行っています。

長野県公式ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/keieishien/sangyo/shokogyo/sogyo/oen.html>



★ ★ ★

正直、「面倒だな」と感じたこともある地域活動。
やってみたら達成感とやりがいに、
それは貴重な体験になった。

03 単身移住編
軽い気持ちで始め、
気が付けば10年が経っていた



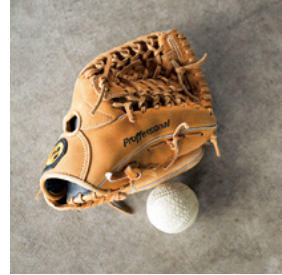
PROFILE

克広さん (30代)

山梨県甲府市

移住

山形村



さまざまな人との関わりが、かけがえのない時間に

克広さんは、山梨県甲府市出身。東京の大学へ進学し、卒業と同時に移住しました。「山形村には父の実家があり、親しみがありません。卒業後の進路に悩んでいて、山形村で農業を営む叔父と一緒にやらないかと声を掛けられたのがきっかけです」。最初はお試し感覚だったと克広さん。農業は全くの素人だったため、「叔父の後をついて回り、指示されることを必死でやるだけでしたね」と、当手を振り返ります。

地域活動にも積極的に参加しました。まず入団したのが消防団。「本来の活動は、消火活動や自然災害への備え、人探しなどですが、入団したことで、幅広い年代の方と親しいお付き合いができるようになり、他地域の団員とも知り合えて、一気に交友関係が広がりました。大会に向けて練習を重ねる中で仲間との絆を深め達成感を味わったり、役職に就き人

前で話したりと、農業ではできない経験ができたことも財産ですね」。ソフトボールや早起き野球にも誘われました。「山形村は昔から少年野球が盛んで強かったそうで、経験者が活発に活動しています。僕も野球をやってきたので、仲間ができ、共に白球を追えるのは嬉しいですね」。その話しぶりから、消防やスポーツを通して広がった人との関わりが、日々の暮らしをより充実したものにしている様子が伝わってきます。

あれから10年。現在は畑で8種類のリンゴと桃を栽培している克広さん。今年から若い仲間も加わったうえで、「農業は技術革新が進み、栽培方法も進化しています。これからもより美味しいリンゴや桃を作り農地もさらに広げて、将来的には、年齢の近い仲間と共に新しいスタイルで農業経営をしていけたらと思っています」と、力強く語りました。



いろんな人と関わり、地域の中で生きるって、こちいい

〈聞いてみました!〉
 単身移住で気になるところ

question 1

単身移住で感じた山形村のいいところ

どこに行っても声をかけてくれる人がいて、心があたたかくなります。地域活動でもスポーツでも、先輩後輩関係なくみんなで仲良くやろうよという雰囲気があり、そこがいいなと思っています。

question 2

単身移住で困ったところ

移住して10年になりますが、単身だから、移住者だからという理由で何か困ったという経験は思い当たりません。あえて言うなら、消防団に入ってくれる若い人が少ないことくらいでしょうか。

question 3

山形村を選んだ理由

僕の場合はもともと山形村に縁があり、あえて選んだというわけではないのですが、実際に暮らした感想としては、移住先がこの村で本当に良かったと思っています。

question 4

移住を検討している人へメッセージを

近所付き合いも、消防、スポーツなどの地域活動も、人とつながり、地域に溶け込むきっかけになります。やりがいや楽しさなど得られるものもあると思うので、面倒だと敬遠せずぜひ参加してみてください。

interview



山形村に住んで働く

山形村新規就農者支援事業

村では、村内での新規就農を促進し、青年農業者の定着を図るため、新たに農業を始めた方へ支援金を給付します。国の農業次世代人材投資資金の対象とならない50歳未満の方が対象です。

30万円

山形村公式ホームページ

<https://www.vill.yamagata.nagano.jp/docs/1899.html>



UIJターン就業・創業移住支援金

長野県内の担い手不足の解消および地域課題の解決並びに山形村への移住の促進を図るため、東京圏(埼玉県、千葉県、東京都および神奈川県)、愛知県または大阪府から山形村へ移住し、県内で就業(県内企業に就業の場合は、県のマッチングサイトの求人に応募・採用が条件)または創業しようとする方に対し、移住支援金を支給します。

申請要件、手続き等については企画振興課(TEL0263-98-5666)へお問い合わせください。

単身世帯
60万円

2人以上世帯
100万円

長野県移住支援金(UIJターン就業・創業移住支援金)対象求人サイト

<https://uij-matching.pref.nagano.lg.jp/>



ハローワーク松本

職業相談や求人情報の提供など、就職にあたってのさまざまな相談を行っています。また、ハローワークインターネットサービスから求人を検索することができます。

ハローワーク松本公式ホームページ

<https://jsite.mhlw.go.jp/nagano-roudoukyoku/anteisyo/anteisyo02.html>



ハローワークインターネットサービス

<https://www.hellowork.mhlw.go.jp/>



その他の求人情報・支援

長野県移住・交流センター(銀座NAGANO内)

長野県が行う移住相談とハローワーク長野が行う職業相談を一体的に受けることができます。

<https://www.ginza-nagano.jp/about/coworkingspace>



楽園信州 長野県の移住ポータルサイト

<https://www.rakuen-shinsyu.jp/>





Case 1

◇◇◇◇ コミュニティを下支えしているのは 地域の行事や活動。

山形村出身の奥様と共通の友人を通して出会い、29歳で結婚。以来奥様の実家で暮らしてきた。「山形村には(田舎)というイメージを持っていたのですが、来てみたら、道路は整備されているし、大型商業施設もあつて買い物にも困らない。とても暮らしやすいなあと感じました。それに、山形村には、人と人とのつながりを大切にして、何かあつたら協力しましょうという雰囲気がありますよね。そこもいいなと思います」と忍さん。子どもが生まれてからは、整備された公園があつて遊ぶ場所に困らないことや、畑で働く人たちの目が日常的にあることで地域の安全が保たれていることにも気づき、この村の良さを改めて感じるようになったと言います。

もともと人と接することが好きだったこともあり、この12年間、積極的に地域活動に参加してきたという。今も、小学校のPTA役員や公民館報の編集委員を務めています。加えて、忍さんの住む地域には、舞殿(ぶてん)と呼ばれる山車を曳き回すお祭りがあり、古くから神楽も伝わっているそうで、「私も実家の方で篠笛をやっていたので、何かの役に立てるかと保存会に参加しています。子ども達に笛や太鼓を教え、地域の伝統を伝えていく。とても大切なことだと思っています」とも。「時代と共に人と人との接点が薄れていきますが、この村ではいまだに近所づきあいや日常的な助け合いが続いています。素晴らしいことだと思えます。だから私は、これから深くお付き合いできるような活動や機会があれば積極的に参加したいし、私もそういう場を作っていきたい。忙しいけれど、それがこの村で暮らす楽しさでもあると思うので」と、爽やかな笑顔で語ってくれました。

profile

忍さん

旧安曇村出身。松本市内の観光施設に勤務する2男1女の父。地域活動に積極的に関わるかたわら、休日には、家族で山菜採りや溪流釣り、登山、ドライブなどに出かけるのが楽しみ。



Case 2

◇◇◇◇◇
米も野菜も美味しく作れる豊かな村。
ここに暮らす幸せを伝えたい。

長男の出産を機に、山形村に新居を構えた典子さん。入居後すぐにお祭りに誘われ参加したことがきっかけで、知り合いが増え、地域の中での暮らしが始まりました。

子ども達は小学生になると山形村のスポーツ少年団に入り、長男と次男は野球、長女はバレーボールに没頭。「良い指導者のもとで大切なことを教えていただきました」典さんは「追っかけ」になり、ご主人と共に遠征や合宿先まで応援に行くようになりました。「子ども達は生涯の仲間と出会い、私達親にも親しい友人ができて、大変なこともありましたが、今でもキラキラと輝いているかけがえのない時間でした」と当時を振り返る典子さん。3人の子とも達は地域の中で成長し、長男は長野県の教員に。金沢の大学に進んだ長女もUターン就職が決まりました。次男も、北アルプスの山岳救助隊を目指

して、目下勉強中だといいます。

一方、子育てを終えた典子さんは「例えば、農産物の加工開発などを行う村の施設「エポック館」で、指導員の一人として働く傍ら、農家を手伝ったり、給食用の地場野菜を学校に届けるボランティアや子ども食堂の開催、仲間と畑を借りて野菜を栽培し子ども達に収穫や加工などを体験してもらった活動をしたりと、日々忙しく過ごしています。「私は山形村が好き。だから、この村が良い方向へ進んで行けるように、自分のできるところはしたいと思っています」と典子さん。「山形村は、お米も野菜も、私たちが口にするほとんどのものを自分達の村で賄える。これって本当に素晴らしいこと。私自身、ていねいに食べる暮らしを大切にしながら、子ども達にも、自分の村で採れたものを食べる幸せを、いろいろな形で伝えていけたらと思っています」。

profile

典子さん

大阪府出身。山形村で新鮮な野菜のみずみずしさに感動したことから食への関心が高まり、多様な活動を通して、農作物や加工品を作る喜びやていねいに食べる大切さを伝えている。



Case 3

◇◇◇◇ デザイナーから農家へ転身。 日本一のアスパラ産地を目指す。

旧家の長男に生まれ、ゲームデザイナーを目指して東京の専門学校に進学した辰弘さん。卒業後はDVDコンテンツやゲーム製作、WEBや冊子のデザイン、映像編集などの職を経て独立。フリーのデザイナーとして、精力的に仕事に取り組みました。「僕が東京で働いていた時期は、パソコンが目まぐるしく進化した時期と重なります。当時のデジタル業界は今でいう超ブラックな状況で心身に疲れてしまっていました。インターネットが普及して場所を選ばず働くことが可能になったこともあって、2011年の初めに山形村にUターンしました」。

これを機に心機一転、就農を決めました。以来、実家が所有する農地でのアスパラ栽培に取り組み傍ら、新規就農者を対象とした勉強会に参加したり、独自に情報を集めて試したりと、栽培方法の研究も重ねてきました。「アスパラは植えてから3年間は収穫ができないので、その間は、長いもや夏野菜を作って凌ぎつつ、4年目でようやく出荷できるようになりました。また、農地を所有してはいたものの農機具はなかったので、まずはお金を貯めてトラクターをかうと。そこから、管理機、噴霧器、冷蔵庫と、少しずつ必要な農機具を揃えて来ました」。ときに孤独を感じたことも。所属する「農村青年会議」での若手農家の仲間達との交流が、心の支えになったと言います。「この11年で基礎研究のようなものができ、農機具も一通り揃って、ようやくスタートラインに立てたという感じです」と、晴れやかな表情で語る。これからも研究を続け、美味しいアスパラが作れる栽培方法を追求して生産量を増やすとともに、ゆくゆくは仲間を募り六次化にも挑戦したいと、大きな夢を描いています。

profile

辰弘さん

13年間の東京生活を経てUターンし、アスパラ、長いも、自然薯などの栽培に取り組み。若手農家の交流会や、前職での経験を活かしての公民館報の編集委員など地域活動でも活躍。



Case 4

◇◇◇◇
心あたたかい人々に見守られながら
大らかな気持ちで子どもを育てる。

彩さんは生粋の山形っ子。村内で農業を営む同級生と結婚し、現在は塩尻市で働きながら、子育てに勤しんでいます。「私達は義両親と同居し、敷地内にある母屋では義祖母と義姉家族が暮らしています。義両親は現役で働いていますし、90歳を超えた義祖母もとても元気。大人の手も目もたくさんあるなかで、同じ年頃の姪達と我が家の2人の子ども達は、まるで4人きょうだいのように伸び伸びと育つてきました」と、彩さん。3世代12人の大家族でのにぎやかな日々を、楽しそうに話します。

遠くに連なる山々と、目の前に広がる広大な畑。子どもの頃からこの村の風景が好きだったという。「特に好きなのが、空気が澄んで山々が美しく見える冬の景色。心が洗われます」。風景を愛でながら子連れで散歩することも多く、「車通りが少ないので、田んぼを覗いて生き物を観察したり、食べられる実を見つけて口に入れたりと自由に動き回る子ども達を安心して見ていられます。子ども達が花や草、虫の名前を覚えてくれることも、成長を感じられる楽しい時間です」と笑顔。通りすがりの人に声をかけられたり、トラクターに乗った人が遠くから手を振ってくれたり、通りかかった畑でもぎたてのリンゴやブルーベリーをもらったりと、村の人達の温かさに触れる場面も多く、「周囲の方々に優しく見守られながら、大らかな気持ちで子育てを楽しむことができます。いろいろな世代の方々と接しながら育つのはとても大切。これからも大好きなこの村で、子ども達の周りにたくさんの人がいる暮らしを続けていきたい」と彩さん。視線の先では、お父さんやおじいちゃんが働く畑。見つけたサルビアの蜜を仲良く吸う子ども達の笑顔が弾けていました。

profile

彩さん

松本市の高校から県内の専門学校に進み、帰村。専業農家に嫁ぎ、3世代12人と和気あいあいと暮らしている。勤務先は松本市に本拠を置く老舗パン屋。出産・育児休暇を経て復職しパン作りを勉強中。



ここは、子ども達の安心基地。
いっぱい遊んでのびのび成長。



一心不乱に何かに取り組む姿を大切に、自分で考え、行動できる子どもを育てている村立山形保育園。登園した子ども達は各々お目当ての場所へ向かい、目を輝かせて自分がやりたいことに取り組みます。賑やかな園内には、庭で黙々と鉄棒の練習をする子や、廊下で工作に没頭する子の姿も。夢中で遊ぶ子どもたちの傍らには、あたたかく見守り、前向きな声をかけて、子ども達の持つ『力』を引き出し育む、先生の姿があります。

お昼には、園内で調理された給食。常駐する栄養士が日々工夫を凝らしたメニューを考え、調理員が村内で収穫された旬の野菜を使って出汁から丁寧に手作りしています。素材の味が活かされた給食は、手作りおやつと共に、子ども達の楽しみになっています。

豊かな自然に囲まれた、天然木で造られた開放的で明るい園舎と、緑あふれる園庭からは、今日も元気な子ども達の声が聞こえています。

豊かな自然が育む、 あんしんでおいしい子育て

「子育て支援センターすくすく」

0歳～就学前のお子さんとそのご家族が気軽に遊び、交流できる場や、子育てに関する情報の提供、子育てに関する講座や親子参加型のイベントを開催しています。

また、保育士や保健師が日々の子育てに関する不安や悩みに対し、村という規模だからこそできる、住民の皆さんに寄り添った相談体制を整えています。



「保育園」 村内には村立山形保育園と認可保育園のやまご保育園の2園があります。

山形村立山形保育園

山形村の豊かな自然の中でのびのびとした保育を行っています。



やまご保育園

父母と職員が共に、リズム運動や五感を使った遊びなどで心と体が豊かに育つことを大切に保育を行っています。



「小学校・中学校」

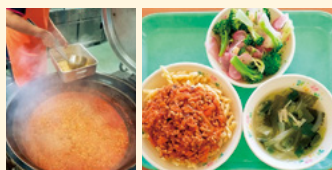
小学校は、村立の山形小学校が、中学校は松本市・山形村・朝日村組合立の鉢盛中学校があります。

山形村立山形小学校→



自慢の自園・自校給食！

山形村の保育園、小中学校の給食は、自園・自校給食です。地元でとれた新鮮な食材をふんだんに使ったできたての給食は、子どもたちの健康な体と豊かな心を育てます。





お手頃価格で季節の味を楽しむ



直売所が便利で楽しい ★ ★ ★

肥沃な土壌と気候条件に恵まれた山形村は、全国有数の畑作地域。「何を作っても美味しくできる」と言われる畑では、知る人ぞ知る特産品の長いもをはじめ、キャベツやレタスに代表される葉野菜、キュウリやトマト、ナス、スイートコーンなどお馴染みの夏野菜、さらには梨やリンゴ、ブルーベリーといった果物まで、多種多様な農産物が栽培されています。

そんな大地の恵みを手ごろな値段で入手できるのが、村内にある3つの直売所。店内には収穫したばかりの瑞々しい農産物や、工夫を凝らした手作りの加工品などがとろりと並んでいます。季節ごとに変わる旬の味はもちろん、少量過ぎて出荷できないなどちよつとワケありの珍しい野菜や果物に出会えることも。出荷のために訪れた生産者と気軽に交流できるのも、直売所ならではの楽しみです。



JA松本ハイランド ファーマーズガーデンやまがた
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村1579-1 ☎0263-98-5231
<https://www.ja-m.iijan.or.jp/market/>



竹田の里
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村7214-3 ☎0263-98-3877
<https://takedanosato.com/>



直売所いもっこ
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村南野尻4277-1 ☎080-3711-5338
<https://www.imokko.jp>



★ ★ ★

山形村にはおいしいがいっぱい

美味しいものが盛りだくさんの山形村。季節ごとに変わる旬の農産物はもちろん、蕎麦も、山賊焼きも、一度食べたら病みつきになること間違いなし。自慢の逸品をぜひご賞味ください。

春



アスパラ

夏



すいか

夏



ブルーベリー

秋



蕎麦

秋



りんご

秋



長いも

冬



野沢菜



山賊焼き

もっと知りたい！山形村

気になる質問を
まとめました。



Q 仕事はありますか。

A 村内を含め近隣市町村の求人情報はハローワークや求人情報サイト等で探すことができます。村近くに工業団地があり、松本市・塩尻市・安曇野市にアクセスが良いため村外へ働きに出る方も多いです。

Q どのような気候ですか。

A 寒暖差の大きい内陸性気候で、年間降水量は比較的少なめです。雪はおよそ5～10cm程降り、年に数回雪かきが必要となります。冬の寒さがご心配な方は、「山形村おためし住宅」を利用して、山形村の冬を体験していただくのがおすすめです。

Q 移住お試し住宅はありますか。

A 山形村への移住を希望している方、検討している方向けに「山形村おためし住宅」を設置しています。山形村への移住の1ステップとして、ぜひご利用ください。（詳細はP25をご覧ください）

Q 住まいはありますか。

A 村では、空き家バンクを設置し、利用したい方への情報を提供しています。村内にはアパートも点在しています。アパートは民間の運営ですので、賃貸情報サイト等で情報をご覧ください。

Q 連絡班とは何ですか。

A 円滑な行政運営の推進と住みよい地域づくりを目的に、地域に「区」、その中に「連絡班」を設けています。行政からの文書配布、防災訓練の参加、ゴミ集積所の管理、地域の環境整備など地域コミュニティのまとまりをいいます。

Q 車は必要ですか。

A なくても生活できないことはありませんが、あった方が断然便利です。冬場に車を運転する場合は、スタッドレスタイヤが必須です。

Q 買い物するところはありますか。

A 村内には2か所のスーパーをはじめ、コンビニやホームセンター、ドラッグストアなどがあり、生活に必要なものはほぼ村内でまかなうことができます。

Q 地域に溶け込むにはどうすればいいですか。

A 地域の風習や伝統文化は田舎ならではの魅力でもあります。地域活動に積極的に参加して仲間を増やしましょう。いざというときには、ご近所同士のつながりが頼りになることも。

Q 医療機関はありますか。

A 村内には内科や小児科などの診療所や薬局が複数あります。また、近隣には総合病院もありますのでしものときも安心です。

★ ★ ★

山形村空き家バンク

空き家を売りたい・貸したいという空き家所有者と空き家を買いたい・借りたいという方を、村が“橋渡し”をして空き家を活用するため、「山形村空き家バンク」を設置しています。

村では、空き家所有者より空き家バンク登録申請がされた空き家の情報を提供しています。

売買・賃貸の契約は、村と協定を結んでいる(公社)長野県宅地建物取引業協会中信支部の会員で構成される「山形村空き家等利活用促進連絡会」の会員が行います。

空き家利用希望者



空き家情報提供



山形村空き家バンク

空き家所有者



空き家物件登録

← 山形村空き家等利活用促進連絡会会員(宅建業者)の仲介により、契約 →

空き家利用の流れ

STEP 1

村公式ホームページで村の空き家を探します。

※物件の詳細は、「楽園信州空き家バンク」をご覧ください。



STEP 2

買いたい、借りたい物件を見つけた空き家利用希望者の方は、直接「山形村空き家等利活用促進連絡会」の担当業者に連絡します。

STEP 3

「山形村空き家等利活用促進連絡会」担当業者仲介の下、契約をします。

山形村での生活への一歩です！

★ ★ ★

山形村おためし住宅

対象者

山形村外に住所があり、山形村へ移住希望または移住を検討している方

滞在期間

2泊以上30泊以内(3日以上31日以内)

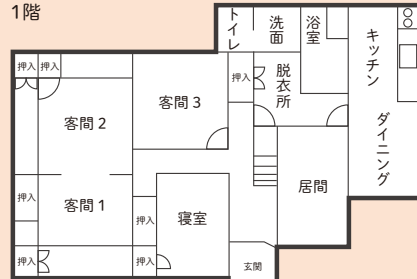
使用料

1泊あたり1,000円

注意事項

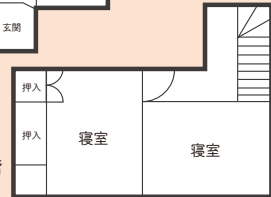
- ・予約は先着順です。
- ・先約がない場合に限り、使用決定します。
- ・ご希望に添えない場合がございますが、ご了承ください。

1階



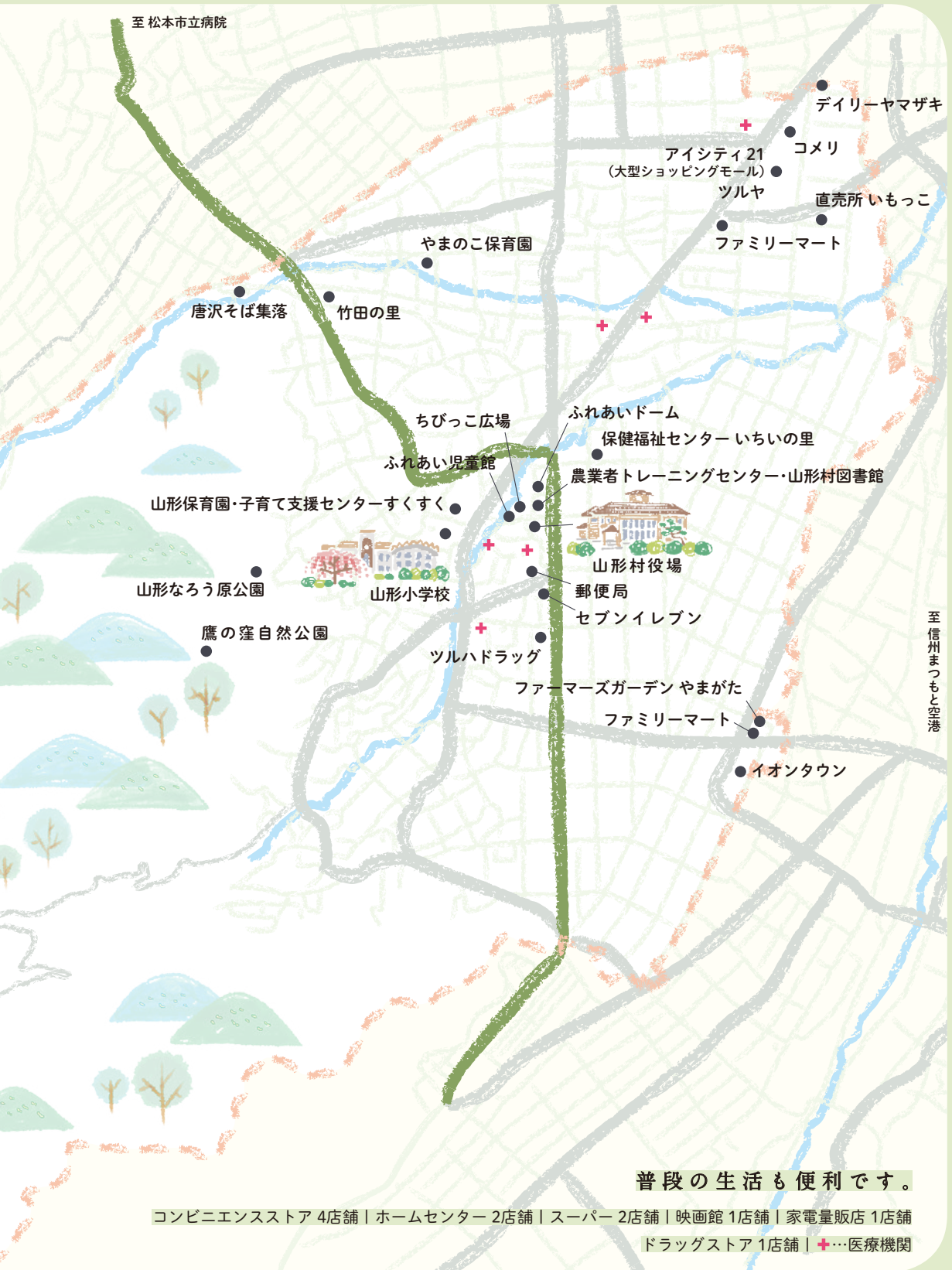
おためし住宅間取り

2階



おためし住宅の詳細、オンラインでの申し込みはこちらから
〈お問い合わせ〉 企画振興課 TEL0263-98-5666





至 松本市立病院

デリーヤマザキ

アイシティ21
(大型ショッピングモール)

コメリ

直売所 いもっこ

ファミリーマート

やまのこ保育園

唐沢そば集落

竹田の里

ちびっこ広場

ふれあいドーム

保健福祉センター いちいの里

ふれあい児童館

農業者トレーニングセンター・山形村図書館

山形保育園・子育て支援センターすくすく

山形村役場

山形ならう原公園

山形小学校

郵便局

鷹の窪自然公園

セブンイレブン

ツルハドラッグ

ファーマーズガーデンやまがた

ファミリーマート

至 信州まつもと空港

イオンタウン

普段の生活も便利です。

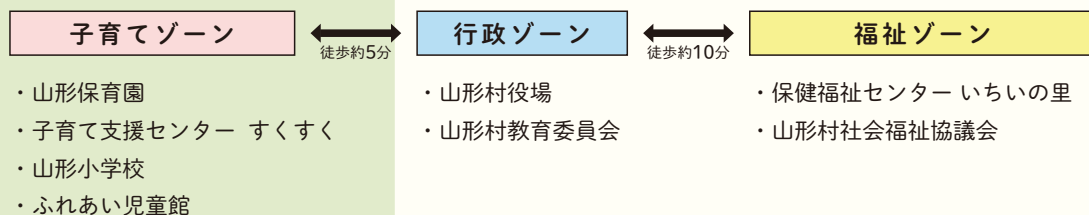
コンビニエンスストア 4店舗 | ホームセンター 2店舗 | スーパー 2店舗 | 映画館 1店舗 | 家電量販店 1店舗

ドラッグストア 1店舗 | + 医療機関

★ ★ ★

コンパクト・ビレッジ

小さいからできる、3つのゾーンに分かれたコンパクトな村。総合病院までも近くて安心。



★★★

山形村へのアクセス

生活圏は村内に限らず村外まで。

車で30分圏内にインターチェンジがあるほか、松本市・塩尻市・安曇野市といった周辺市街地へのアクセスが抜群のため、お仕事や病院は村外へ通う方も多くいます。また、信州まつもと空港にも車で10分ほどでアクセスできます。



車

松本ICから約15分



電車

松本駅からアルピコ交通バスで約30分
波田駅から西部地域コミュニティバスで約25分



飛行機

信州まつもとと空港から車で約15分

〈公共交通〉

アルピコ交通山形線
西部地域コミュニティバス



山形村在住で山形線を回数券(ラ・クーポン)または定期券で利用する方向けに購入額の半額を助成しています。





YAMAGATA VILLAGE DATA

面積	24.98km ²
人口	8,539人(2022年4月1日現在)
気象情報	
2019年の最高気温	36.8℃
2019年の最低気温	-10.8℃
2019年の平均気温	11.9℃
2019年の降水量	1,115ml
村のシンボル	
村の木	いちい
村の花	さつき



マスコットキャラクター



とってもドジだけど
どんなことにも一生懸命!!山形村をこよなく愛す五穀豊穡の見習い神様です!

山形村公式ホームページ
<https://www.vill.yamagata.nagano.jp>



山形村公式インスタグラム
[instagram.com/yamagata_vill_official/](https://www.instagram.com/yamagata_vill_official/)



| やまっちが紹介する山形村
YouTubeで再生されます。







ふとした時に見える風景が、
私をやさしく包んでくれる。
自然を感じて過ごす時間は、
きっと私を豊かにしてくれる。





ち
よ
う
ど
い
い
田
舎

山形村への移住に関するお問い合わせ先

山形村役場

〒390-1392 長野県東筑摩郡山形村2030番地1

TEL 0263-98-5666

MAIL kikaku@vill.yamagata.nagano.jp

<https://www.vill.yamagata.nagano.jp>



